

圃場整備事業

かざみ うわだいら

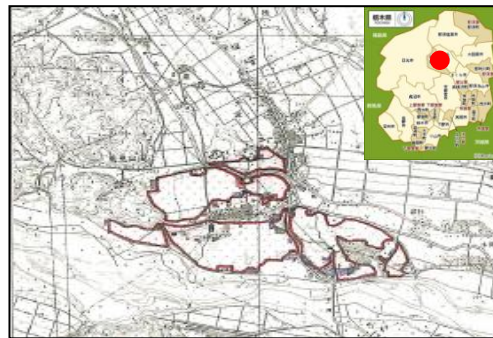
風見上平地区（平成19年3月完成）

1. 事業概要

本地区は、宇都宮市の南西部に位置し、一級河川鬼怒川の左岸に隣接して展開する水田地帯であり、水稻、麦を中心とした農業が展開されている。

本事業は、風見上平地区の農地137haについて、圃場整備を行うものである。

事業名	県営圃場整備事業		
事業主体	栃木県		
事業箇所	塩谷郡塩谷町大字風見、上平		
受益面積	137ha		
受益者数	127人		
整備内容	整地工 137ha	用水路工 22.4km	排水路工 13.4km
		道路工 17.7km	
総事業費	13.3億円		
事業期間	平成5年度～平成18年度		



2. 事業の目的・必要性

本地区の農地は区画が狭く不整形であるとともに、道路は狭小で屈曲しており用排水路が土水路であったため、効率的な営農が困難な状況にあり、基盤整備は重要な課題となっていた。

このため、栃木県では圃場整備事業により、農地の大区画化や大型機械の導入による低コスト水田農業の振興を図るとともに、排水条件の改善による「農地の高度利用」や「営農の効率化」、「農地利用集積の推進」を図ることを目的に、平成5年度から圃場整備工事に着手し、平成18年度に事業完了した。

3. 事業の整備効果等

(1) 事業費等の変化

項目	事業採択時	事業完成時	増減
受益面積	147ha	137ha	△10ha
総事業費	9.2億円	13.3億円	4.1億円
工期	H5~H11	H5~H18	

受益面積については、宅地周辺部の区画形状の改良が大きく見込めないため、新たな整備に対する意欲低下により、約10haの減となった。また事業費については、用水路工や排水路工の路線配置計画の変更により水路延長が増となり、事業費4.1億円の増となった。

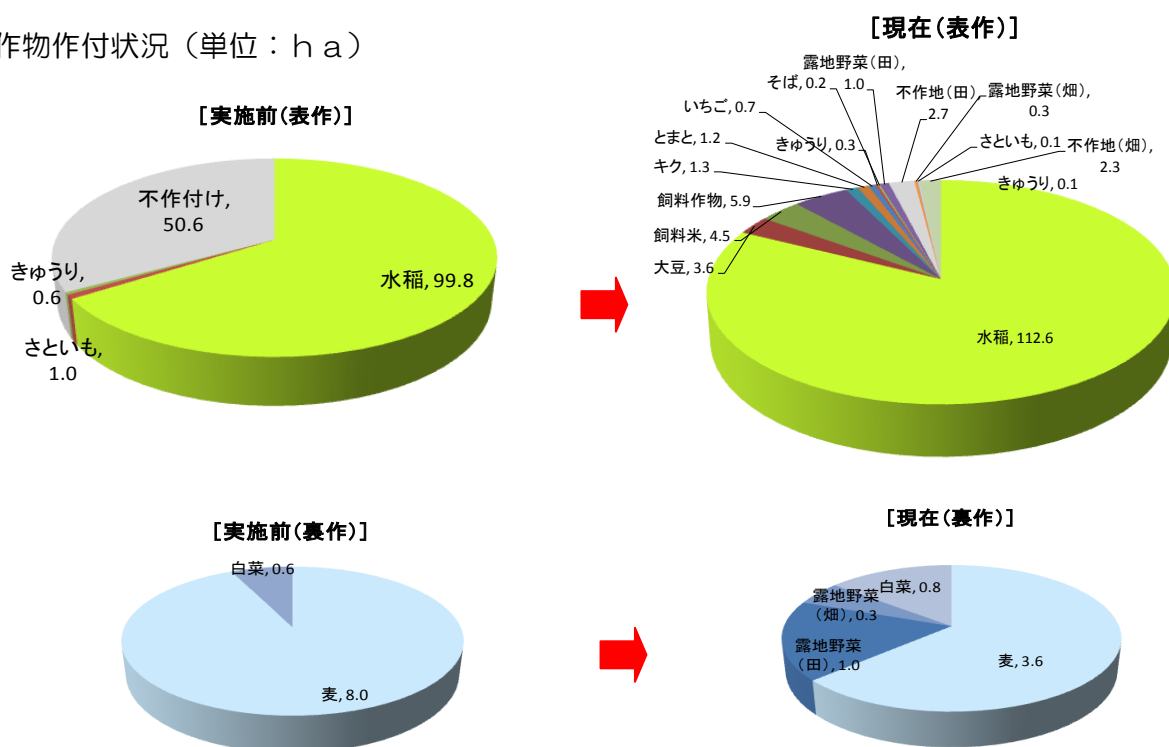
(2) 農地の高度利用

◆農作物の作付け状況

事業実施前は概ね水稻単作の状況であったが、圃場整備事業実施後、飼料米や飼料作物の作付けが大幅に増加した。また本地域では転作作物としてイチゴ・トマト・花き等の施設園芸作物が作付けされている。

○耕地利用率 [実施前] 72% ⇨ [現在] 100%

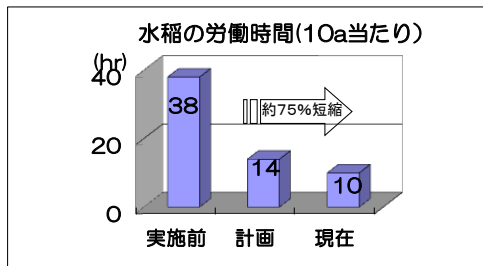
○作物作付状況 (単位: ha)



(3) 営農の効率化

①作業に係る労働時間の短縮

事業により農地の集団化、大区画化が図られ、大型機械の導入等により農作業に係る労働時間が約75%短縮された。

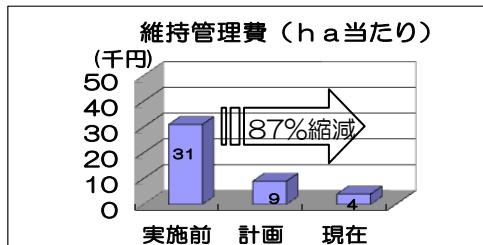


(担い手農家聴き取り)

②維持管理の軽減

用排水、道路の整備により、施設に係る維持管理費が大幅に削減された。

維持管理費： 31千円/ha/年間（実施前）
↓
4千円/ha/年間（現在）



(土地改良区聴き取り)

③創設非農用地効果

換地手法により県道（今市・氏家線、藤原・宇都宮線）用地等の公共用地が円滑に創出され、他の公共事業において用地交渉に係る労力の節減が図られるとともに、速やかな着工を可能にする等地域におけるインフラ整備の促進に寄与した。

(4) 農地利用集積の推進

担い手への農地の利用集積状況は、

	[整備前]		[現在]
地区内経営面積 (ha)	0 ha	⇒	14 ha
地区内農地集積率 (%)	0 %		10 %

4. 事業により整備された施設の管理状況

水路は、隣接農家が土砂さらいや除草等を実施するなど適切な管理が行われている。また一部地域では、集落単位で共同作業も実施されている。

農道は管理者である塩谷町が適切に管理を行い、日常の除草・清掃作業等は隣接農家が行っている。また一部地域では、集落単位で共同作業も実施されている。



5. 事業実施による環境の変化

事業実施により、狭く屈曲していた農道が整備されたことで通勤・通学など地域の生活道路としても利用されるなど、利便性が向上している。

6. 社会経済情勢の変化

特になし

7. 今後の課題等

- ①生産基盤の整備により多様な農作物生産が進みつつあることから、今後は地域農業の担い手の確保育成を地域一体での推進し、多様な農作物生産の定着化を図る必要がある。
- ②アンケート調査での用水不足、生活道路の整備拡充などの意見要望について、対応策を土地改良区等と共に検討が必要である。

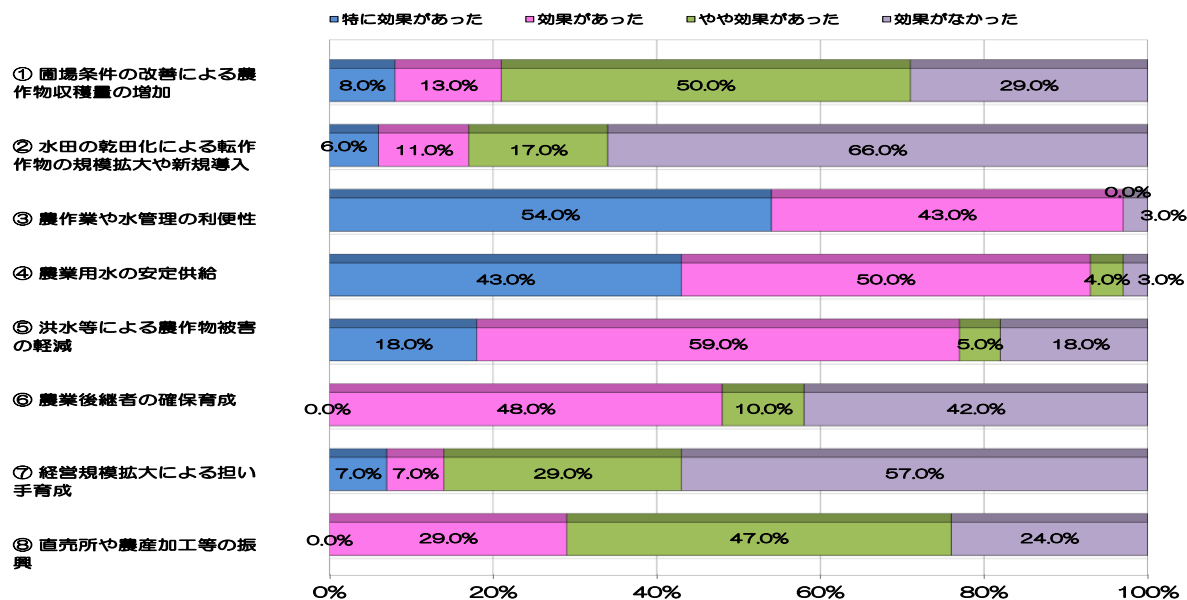
◆[参考：アンケート調査結果について]

本地区内の農家、非農家を対象に事業実施に対する効果の発現状況について調査を行った。
(配布戸数 130戸 回答 36戸 回答率 28% H24.6実施)

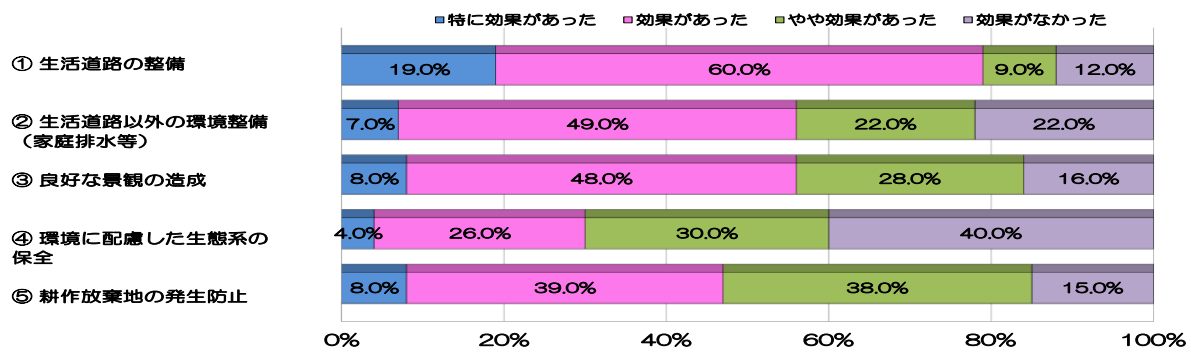
[アンケートでの地域住民の事業に対する評価]

事業の実施により、水管理の利便性、用水の安定供給について高評価を得ている。また、道路をはじめとした生活環境の整備についても高評価を得ている。

①農家を対象としたアンケート結果



②農家・非農家を対象としたアンケート結果



③主な意見

- ・ 担い手農家にとっての圃場整備事業は、経営規模拡大にはなくてはならないものだった。
- ・ 道路拡幅、水路整備により大型農業機械の導入、水管理の効率性向上が図られ、作業効率が飛躍的にアップした。
- ・ 後継者がいないので所有農地は全部委託する意向であった。圃場整備事業実施の結果、地域の担い手農家が受託意向を示しているのが将来的に安心となった。
- ・ 生活道路が舗装され整備されよかったが、農道についても舗装を考えてもらいたい。
- ・ 畦畔が高く急にできているので大雨時よく崩れる、もっと勾配を緩くして張芝等の法面保護を実施した方が良い。
- ・ 工事完了後にかさ上げの必要な用水路があった。画一的な設計の改善が必要。
- ・ 圃場整備に参加してもメリットは感じられなかった。
- ・ 圃場整備実施に際し役員による換地作業が不明瞭で地域に不満が噴出した。もっと作業内容基準を明確にしながら事業を進めるべきだったと思う。

- ・ その他、改良区の運営等に対する意見がありました。

栃木県 農政部 農地整備課

TEL : 028-623-2364 FAX : 028-623-2378

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g07/index.html>

E-mail : nochi-seibi@pref.tochigi.lg.jp

